

寅さん歩 その19 バーチャルウォークで 甲州道中を歩くー1



平野 武宏

寅次郎、徳川家康が整備した五街道の東海道、中山道、日光道中、奥州道中をバーチャルウォークで完歩しました。

次は五街道で残った甲州道中に挑戦します。バーチャルウォークのシートはHPのYR・四季の道から印刷してください。

バーチャルウォーク甲州道中は2021年8月～9月に歩いて、寅さん歩374～378で経過のみを報告していますが、今回は各宿場を紹介しながらゆっくり歩きます。

五街道ウォーク・八木牧夫著「ちゃんと歩ける 甲州街道」(山と渓谷社)と山口徹著「歴史の道 甲州街道を歩く」(吉川弘文館)を参考に、写真は無料画像を使用します。徳川家康は五街道(東海道、中山道、奥州道、日光道、甲州道)の整備を道中奉行の管轄下に置き、順次整備に取り掛かりました。甲州道中は5番目に整備されました。

幕府道中奉行所は1716年(正徳6年)五街道の名称を東海道、中山道、奥州道中、日光道中、甲州道中と朱字の部分を統一しました。当初、呼んでいた海道は海端の道でないとの理由で道中としました。街道の呼び方になったのは明治政府の命名によります。

[江戸・日本橋] 東京都中央区 最寄駅 東京駅

2025年6月6日武藏国豊島郡(現在の東京都)日本橋(写真下左)を出立しました。徳川家康は江戸城に危機が迫った時に、服部半蔵の手引きで、江戸城半蔵門(写真下右)から甲州道中に入り、内藤新宿で「百人組鉄砲隊」、八王子で「千人同心」を従えて甲府城に入り、富士川の舟運で、一気に駿府に抜けた江戸城の生命線としました。

日比谷桜田門、半蔵門から四谷見附跡に向かいます。この辺りは彦根藩井伊家中屋敷(現在は上智大学、ホテルニューオオタニ)や尾張徳川家の中屋敷(現在の赤坂プリンスホテル)がありました。



[内藤新宿] 東京都新宿区 最寄駅 J R 新宿駅南口

2025年6月7日内藤新宿（ないとうしんじゅく）
(日本橋から8km)に到着しました。

当初、甲州道中の最初の宿は高井戸宿でしたが、
日本橋から4里と長いため、人馬の継立に難儀。
名主の懇願により1699年（元禄12年）宿を内藤
家下屋敷の一部（現在の新宿御苑）を割いて開設。
内藤新宿と命名されました。写真右は宿の入口の
新宿1丁目（新宿御苑の大木戸の門手前）に新宿
区により立てられた開宿300年の記念碑です。

内藤新宿西口の新宿3丁目には青梅街道追分があります。



[下高井戸宿] 東京都杉並区 最寄駅 京王線 桜上水駅

2025年6月9日下高井戸（しもたかいど）
宿（日本橋から16km）に到着しました。
写真右は現在の甲州街道（国道20号線）と
上を走る中央高速道路です。



[上高井戸宿] 東京都世田谷区 最寄駅 京王線 八幡山駅

2025年6月9日上高井戸（かみたかいど）宿（日本橋から18km）に到着しました。
上高井戸宿の間屋業務は月16日から月末まで勤める下高井戸宿との合宿でした。



[布田五ヶ宿] 東京都調布市 最寄駅 京王線 国領駅～西調布駅

国領宿、下布田宿、上布田宿、下石原宿、上石原宿の布田五ヶ宿は本陣、脇本陣ではなく旅籠9軒の小宿の合宿です。間屋業務は月のうち1日～6日は上石原宿、7日～12日は下石原宿、13日～18日は上布田宿、19日～24日は下布田宿、25日～晦日は国領宿が勤めました。

[国領宿] 最寄駅 京王線 国領駅

2025年6月12日国領（こくりょう）宿（日本橋から23km）に到着しました。
写真右は国領神社で御神木「千年の藤」が有名です。



[下布田宿・上布田宿] 最寄駅 京王線調布駅

2025年6月12日下布田（しもふだ）宿（日本橋から23km）、上布田宿（日本橋から24km）に到着しました。
写真右は現在の街並みです。



[下石原宿・上石原宿] 最寄駅 京王線 西調布駅

2025年6月12日下石原（しもいしはら）宿（日本橋から25km）・上石原（かみいしはら）宿（日本橋から26km）に到着しました。上石原宿は新選組組長近藤勇の故郷です。甲陽鎮撫隊で甲州に向かう際に休息した西光寺には近藤勇の坐像（写真右）があります。



今回はここまでとします。

平野 寅次郎 拝